

# 高美小学校内 TM だより

R8.5.12.NO.3

6年1組の国語「聞いて、考えを深めよう」の授業におじゃましました。

## ★学習の導入★

新しい単元の学習に入るにあたり、「一年生にどんなことをしてあげられるだろう」「自分たちはどんなことをしてもらってきたかな」という問いから授業が始まりました。これまでの学校生活を振り返りながら、高美小学校のよさについて意見を出し合う中で、学校の施設や自然だけでなく、「やさしい人が多い」「先生や地域の人が支えてくれている」といった声も聞かれました。自分たちが過ごしてきた学校を改めて見つめ直す時間となっていました。「一年生に高美小学校のいいところを伝えるために、高美小学校にかかわりのある人を紹介しよう」というところから、本単元の学習につなげておられました。子どもたちが目的意識をもちやすく、非常にスムーズな流れだと感じました。

## ★単元のゴールと学習の見通し★

「どんなこと伝える？」という松岡先生の問いかけに、口々に子どもたちが答える姿が印象的でした。子どもたちとのやり取りを経て、単元のゴールは「先生たちが学校でしていることや思いをインタビューし、一年生がわかるように紹介する」というものになりました。「どんな活動が必要だろう」と問いかけられると、以前に行ったインタビュー学習を思い出しながら、子どもたちは意見を出し合い、学習の流れを整理していきました。これまでのインタビュー学習をいかすことができそうだと感じた子が多かったようで、インタビューの準備から内容をまとめるまでの必要な活動を、自分たちで一つひとつ確認していくことができていました。これからの学習の見通しがはっきりしていく様子が見られました。

## ★インタビュー相手を決める話し合い★

本時のめあては、「インタビューの相手を決めよう」でした。班ごとの話し合いでは、自分たちが知っている先生の名前が多く挙がる場面もありましたが、「一年生に関わっている人」「学校全体に関わっている人」という条件を再確認すると、子どもたちは一度出した意見を見直し、改めて考え直していました。まだ決まっていない班をクラス全体で支えながら話し合いを進める場面や、すでに決まった班も相談に加わり、自分たちの考えを広げていく姿が印象的でした。一度立ち止まる時間、ふりかえる時間を設定することは大切だと改めて感じました。

～まとめ～

ふりかえりは、授業の最後に行うものだというイメージがありますが、今回の授業では、授業の最初にこれまでの学習をふりかえったり、授業の途中で立ち止まって考え直したりする場面が見られました。「ふりかえり＝授業の終わり」ではなく「ふりかえり＝一度立ち止まって考える」というイメージをもつことで、子どもたちは目的を確かめながら学習を進めることができているように感じました。また、これまでの学習を思い出しながら学習計画を考える姿から、これまでの学びが次の学びにつながっている様子も見ることができました。松岡先生、6年1組のみなさん、ありがとうございました。

